

第6回各務原市特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和3年1月12日（火）午後1時30分より
 場 所 各務原市役所 産業文化センター2階第4会議室
 出席委員 出口和宏委員長、田代真理子委員、安田ゆかり委員、加藤英優委員、
 関エリコ委員、大谷弘委員、木全かおり委員
 欠席委員 松村齋副委員長、安田寿之委員、兒玉哲也委員

1. 委員長挨拶

2. 議事

①基本構想・基本計画（素案）の確認について

②パブリックコメントの実施について

議事録（要旨）

委員長挨拶	
委員長	6回目となり段々と形が見え始めて、構想が出来てきて楽しみだな、わくわくするなと感じている。皆様からご意見をいただいて、より良いものとしていきたい。緊急事態宣言が出るかもしれないという忙しい中で、皆さまご出席いただいているので、要領よく会を進めていきたい。

議事 ①基本構想・基本計画（素案）の確認について

資料1 基本構想・基本計画（素案）

資料2 関係者から寄せられた意見

事務局説明	
・基本構想・基本計画（素案）について、前回までの委員会以降に追加・変更した箇所を説明した。 ・関係者から寄せられた意見について説明した。 ・事例視察の結果について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	説明に対して、意見、質問等あれば伺いたい。
委員	PI-4については、既存の特別支援学校における「教育の重点」ということで、参考扱いかと思うが、（2）①2点目で「障がい改善・克服し」という点が気になる。以前は、そのような考え方もあったが、医療モデルから社会モデルに変わってきており、文言を「障がいを受け入れ」などに書き換える、もしくは削除してはどうか。

事務局	現在の特別支援学校の内容を記載しているため、内部で検討したい。
委員長	新学習指導要領の自立活動の位置付けを確認していただき、書き換えるか、表現を柔らかくするかなど検討をお願いしたい。
委員	PⅡ-32で概算事業費の総額が65億円とあり、立派なものができると思うが、感覚的に高いと思うがどうか。
事務局	概算の事業費ということで示しており、用地取得費や造成費など既往の実績等から出したものであるが、建築費はコンサルの実績も加味している。
事務局	一般的な学校の3階建てに対して、特別支援学校が2階建てとなることによる割増、近年の人件費や資材費の高騰も見込んでいる。
委員	相場が分からないところではあり、足りないのもいけないが、コストダウンも考えていかなければならない。
事務局	貴重な税金を使う事業であるため、節約すべきところは節約して、かけるところはかけて、基本設計で詰めていきたい。
委員長	事例視察先の花畑学園の事業費はどうであったか？
事務局	公表できないとのことであった。
委員長	羽島では25から26億円であったと記憶している。
事務局	設計段階で、用地費を除いた本体工事費が28億円と聞いている。
委員長	5～6年前で値上がりもしていると思うが、市の意気込みというところも感じられる。今後も金額は変わると思うが、羽島よりも良いものができることを期待している。
委員	セキュリティについては、事例視察ではどうであったか。
事務局	花畑学園については、敷地全体が囲われており、門は電子錠で暗証番号を入力して出入りするようになっていた。光明学園については、整備途中ということもあり、建物ごとの管理となっていた。

委員長	それでは、素案について一人ずつ意見を伺いたい。
委員	歩行者と車両の出入り口が分かれているのは良い。周囲を植栽で囲うことになっているが、出入り口近くには見通しが悪くなるような木は配置しない方が良い。 農業は先生も大変だと思うが、地域の力も借り、工業も企業の協力を得て実施していけると良い。 職員室は小・中・高を分けた方が良いという意見も以前にあったが、どうなっているか。
事務局	植栽については、安全第一で配慮する。 ソフト面についても、来年度以降に体制も含め検討していく。 職員室は基本設計段階で柔軟に対応していきたい。
委員	安全も重視すべきだが、危険にならない範囲で失敗も勉強しながら生活していけると良い。安全とのバランスの中で、社会に出てからの危険は学校で学ぶ必要もある。 建物の周りを駐車場で囲んでしまうと、地域から入りづらいという印象もあり、交流の機会が損なわれないような配慮も必要である。遊具や農業を交流の場として活用できると良い。 図書室も作ると思うが、岐阜市にできた図書館も開放的で良い。参考にしてはどうか。
事務局	安全に配慮して過度に固めてしまうのも良くない。 地元説明会の中で、地域の方からもどのように関わられるかという話があった。ソフト面も引き続き検討していきたい。
委員	羽場駅からのアプローチで一部、安全面に不安な箇所がある。国道21号の横断は歩道橋が整備されており問題ないが、鵜沼福祉センター東の交差点から国道までの区間に歩道がない。路面に歩道らしき着色されている箇所があるが、横断歩道につながる東側なので、西側の歩道橋側には着色されていない。歩道橋側に塗り直していただき、もし可能であれば歩道柵のようなものを設けてほしい。現在の各務原特別支援学校で電車通学者は20名程度で、スクールバスを利用される方が多いため、学校規模が拡大されても電車通学者はそれほど増えないと思われる。通学時に先生方のフォローもあれば、あまり問題にはならないと思う。 図書館の話があったが、羽島の図書室が良かったため参考にして欲しい。地域開放の部分で、喫茶利用者が校内の生徒たちと同じトイレを使うわ

	けにはいけないため、管理棟などに共用でもかまわないので喫茶利用者のトイレが欲しい。 八木山地区には手伝いたいという人がたくさんいるため、この先、具体的に詰めていけると良い。 関係者から寄せられた意見の中にもあるように、新しくできる特別支援学校に対し、病弱の方から特に期待されている。どこまで対応できるかわからないが、意向を汲んで欲しい。
事務局	鵜沼福祉センター東の交差点から羽場駅までの区間は完全な形で歩道が整備されていないので、都市建設部に相談したところ、現状で民家もあるため歩道を整備するのは困難との認識である。小学生の通学路が東の横断歩道側のため、そちらにカラー舗装をしている。西の歩道橋側の対策については、今後、道路部局と協議した上で検討していく。 図書室や地域交流のあり方については、基本設計の条件として引き継いでいく。 八木山のボランティアの方からも説明会の中で意見を頂いている。積極的にワーキンググループを立ち上げるなどしていきたい。 関係者からの意見に対して、説明の場や回答を設ける。
委員	これまで県の特別支援学校籍の先生方に、市の小中の特別支援教育にご協力いただいていたため、今後も引き続きお願いしたい。羽島特別支援学校においても、県立の先生方と羽島市立の小中学校の先生方との人事交流があったと聞いている。作業室等は、教育課程と合わせて、今後も柔軟に対応していってもらいたい。ハードで対応できたとしても専門的すぎると先生が大変になる。 地域人材は、八木山に限らず、市全体で高齢化も進んでいるため、もう少し広げて良いと思う。 児童生徒のトイレについて、暖房便座のみでウォシュレットはなくても良いと思う。鍵は外からも開錠できるようなものが良い。非常用ボタンはその場で解除できるようにした方が良い。セキュリティは、一括で管理できると良い。 自立活動室の吊り下げ型の器具も設計の段階で入れて欲しい。室内に収納できるスペースがあると良い。
事務局	今ある行事は極力、継続できるようにしていきたい。ソフト面になるため、次年度以降、検討を行っていく。 作業学習の中で、専門的なものについては教える側の問題もあるが、バランスを考えて今後カリキュラムを検討していきたい。

	市全体で子どもたちを育ていける環境にしていきたい。 ウォシュレットではなく、ウォームレットという暖かい便座にしていきたい。 セキュリティの中央監視システムは今後、検討していきたい。 訓練室の釣り物についても基本設計の中で検討していく。
委員	作るときは最新のもの、最善のものを考えるが、近年は最新のものが古くなるスピードが圧倒的に早いと感じている。特にＩＣＴの関係の設備など。建物は長持ちさせられるが、どこかで替えないといけなくなるため、そういったことを考慮した設計思想とする必要がある。どれだけ設備を整えたとしても生徒を育てるのは、先生なので、県の人事交流の中で、経験豊富な先生とバランスの良い人員配置ができると良い。普通学校も特別支援教育抜きでは進められないので、センター的機能を担えるようになると良い。
事務局	最近の建築物は可変性が求められている。ＩＣＴにも配慮していく。人事交流については、すでに県に働きかけている。小、中籍の方にも関わっていただく。
委員	各務原特別支援学校の現状からすると、市立の良さとして、小中学校から上がってくる子について色々な話を聞くことができ、小・中の様子と高等部に入って変わってきていることが認識できる。校長会にも参加させていただいて、交流が出来ているのが良い。 市立として一人一台のＰＣは無いが、必要かという問題もある。使いやすいたことが重要で、オンライン授業にも対応していく必要もある。 放課後等デイサービスを使う人が増えている。各務原特別支援学校では、１０事業者程度であるが、多いところでは３０事業者と聞いている。乗り降りに時間もかかるし、スペースが必要となる。行きと帰りではバスに乗る人数も相当違う。 地域交流は重要で、敷居が高くないようにすると良い。今後、教員の数が増えるとは考えにくいので、支援員さんに入ってもらうことも重要である。 近隣の学校の特別支援学級の親御さんから新たな支援学校のことを聞かれる。そういった方にも情報が伝わると良い。
事務局	タブレットなど県とは差があるが、ギガスクール構想として進めている。放課後等デイサービスのバスターミナルは、基本設計で検討していきたい。

	開かれた学校ということで、気軽に入れるということとセキュリティの問題は表裏一体であるが、技術を駆使して対応していきたい。 情報発信については、今後も積極的に取り組んでいきたい。できれば、直接出向いて意見をもらいたい。
事務局	ここで、本日欠席されている児玉委員からの意見を紹介する。 作業学習については、小中学部や肢体不自由、病弱の児童生徒も加わるため、多様なソフトとハードの対応が必要となる。設計の段階では、種別ごとの教室数、特別教室も具体的に決めていかないといけない。 作業学習は高校の生徒像から設定する必要がある。高等特別支援学校のような専門学科を置くわけではないため、生徒の実態に合った教育課程を検討する必要がある。 交流については、地元で学校ができるということで一層、推進していただきたい。県立の特別支援学校では市町村と連携し、交流籍を設けるなど居住地交流を行っている。市立同士なので進めやすいと思う。 医療的ケアについては、看護師の配置、学校医の委嘱、ケアの実施体制など事前の準備が必要となる。PT、OT、STについては、県で予算を付けて配置している。市においても必要に応じて配置することが望ましい。
委員長	意見も一通り頂いたので、素案の確認については、ここまでとしたい。

議事 ②パブリックコメントの実施について

事務局説明	
・パブリックコメントの実施について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
事務局	本日、頂いた意見を反映したものを委員へ送付する。パブリックコメントは1月22日から実施する。 市民説明会を1月23日と26日に市内在住・在勤・在学の方を対象に実施する。 パブリックコメントや説明会で出た意見の対応は第7回委員会で確認する。
委員長	これまで、県立の特別支援学校の新設には関わってきたが、既存の学校を拡大するため他の場所に移して整備した経験はないので分からないが、今の各務原特別支援学校の生徒や保護者に説明する機会が必要ではないか。

委員	市民に公開されている内容は、保護者等にお話しする機会があれば伝えられている。今年開催できなかった同窓会に対しても、来年度に開催できれば丁寧に説明していこうと話している。それで反対ということは恐らくないと思う。学校がなくなるわけではなく、大きくきれいになってお引越すんだよということで話しているが、各務原特別支援学校の生徒たちは卒業してしまうからか、あまり興味がないように感じる。逆に小中学生の保護者は非常に興味を持たれている。新しい羽場についてもスクールバスが出る話をすると安心される。
事務局	同窓会等に対して説明する機会を頂ければ、積極的に説明しに行きたい。時期等については、また相談させていただきたい。今、子供たちは意外とあまり興味を示さないというお話もありましたが、保護者の方やOBの方の気持ちも大切にしていきたい。
委員	手をつなぐ育成会では、特別支援学級の先生方に情報は伝えている。特別支援学級の生徒や市外の特別支援学校に通われている生徒に直接、個別に資料等を配布することは必要だと思う。
事務局	以前行ったアンケートは県教育委員会を通じて配布しているため、手段はある。即答はできないが、県教育委員会に働きかける。
委員長	本日出された意見の反映結果の確認については、委員長一任ということでよろしいか。
一同	異議なし。
委員長	それでは、確定したパブリックコメント案については、郵送にて各委員に送付することとする。

3. その他

(事務局) 次回については、3月4日火曜日に、15時から4階の第2学習室にて開催する。